

平成22年度米子市文化ホール運営委員会議事録（概要）

議事の概要

文化ホール職員

議案1 平成21年度利用状況報告について

平成21年度の施設利用状況の実績と管理業務に関する事業を報告

議案2 平成22年度事業報告について

平成23年1月までの自主事業を報告

委員

メイン事業の円楽さんと風間杜夫さんの事業について、チケット料の一般が2千円ということで安価で市民に提供されたということですが、一方で非常に安すぎないかという声あります。そのあたりのご検討はどんな感じだったのでしょうか。負担金的には百万円取り崩しておられ取り崩さなくても、もう少しチケット代が高くて良かったかもしれないと思いました。

文化ホール職員

例えば島根県民会館とか倉吉未来中心等でもこういった落語会は開かれています。大体4千円とか4千5百円というのが相場ですが、あえて2千円にしましたのは、例えばお年寄りの方で行きたいけれど行けない方等に、是非来ていただきたいというこちらの思いがありますので安価にしました。

結果、高齢者の方に沢山来ていただいて、喜んでもらえたと考えております。

私達は収益を上げるためだけに事業を行っているつもりでないの、広く市民の方に気軽に来て頂け、2千円だと夫婦2人でも4千円なら行ってみようかと思って頂けるような考えの金額です。

文化課長

障がい者の方を招待したことは、

文化ホール職員

障がい者の方を54名ご招待しましたので、その分については収入としては得ておりません。54名分はチケット代に換算すると10万円ありましたが、必要ないとしてご招待しました。具体的には視覚障がいの方、身体障がいの方を招待しました。ご招待については、米子市の方からバスを出してもらい協力を得ながら事業を実施いたしました。チケット代が安すぎるからもっと上げた方が良いということであれば、皆様のご意見を参考にして、来年度以降の事業の単価の設定の際に、検討したいと思います。

委員

障がい者の方の招待は、具体的にどういうふうにして54名というのは決定されたのですか

文化ホール職員

54名につきましては、文化ホールは672席ありますので、その1割弱程度はご招待したいという思いがあり、ホールの席のここぐらいが良いと思った席が丁度54席ありましたので、その両サイド上下の2箇所27席ずつを用意いたしました。どこを招待するのかというのは米子市の方におまかせしました。

委員

どこを招待したのかは具体的にわからないのですね。

施設を招待していれば、何処の施設かはわからないということですね。

募集をされたのですか。

文化課長

メイン事業が収益を目的としている催しではなく、市民に還元するというような意味合いがあるというようにお話をいただきましたので、福祉部門の方に相談しました。高齢者というのは非常に対象が多くとてもカバーできにくいということから、障がい者の方を対象としました。

検討した結果、今回のことについては障がい者の方の中で、視覚障がいの方をお願いしました。この会が落語で話を聞く事がメインですので、協会のほうに働きかけ米子市のバスで送迎をさし招待しました。事業団は良い事業をされるなど評価したところです。

委員

一般的に、事業の料金の設定は大人、子ども、老人、その他の方というような差をつけた料金設定がありますが、今回もそういう考え方もあったのではないかと思います。

文化ホール職員

全席座席指定ということもあり、一律料金にしましたが、委員が言われるように今後は全席座席指定でありながら、学生料金とか高齢者料金ということも検討したいと思います。

委員

文化ホールの連携事業の鳥取県文化振興財団の貸館という形の共催の事業についてですが、平成22年度は2つ参加しておられます。「スーパーチェロアンサンブルトウキョウ」については、会場に来場される方が少なく残念に思っていました。県の文化振興財団の事業についてはPRが不足しているということがあると思いますが、文化ホールとしてどういう独自のPRされているのでしょうか。

全般の事業について言えますが、チラシを置いて文化ホールに来られた方に声掛けしていただいていることは非常にありがたいと思っておりますが、もっと積極的なPRができないものなのでしょうか。

淀江の事業を見ると子ども向けの事業が中心が多いが、今後も子ども向けを中心として行うのでしょうか。淀江文化センターはアクセスの問題が発生するのでどういう考え方がお願いします。

文化ホール職員

PRについて、色々な事業でPRがしづらいところがあり、広報よなごを含め、皆さんに毎月お届けしているフィールやホームページで宣伝するとともに、昨年試験的に行った、オープンスペースの壁面、メインホール側の壁面にプロジェクターを使って映像を流しています。

コミュニティーFMのならずFMが昨年6月に開局しており、FMを使って宣伝をして我々が考えることは行っています。

また、アンケートを取り「何処でお知りになりましたか」ということについて、「口コミから聞いた」というパターンが一番多く、「知人友人から聞いた」134件、「チラシ、ポスターを見た」129件、「フィール、情報誌を見た」54件、「広報よなごを見た」97件ありました。口コミが一番多くなっていますので、子どもは文化ホールの利用者の方に色々声掛けをさせていただいて、その方からまた口コミをしていただくという形が一番効果的ではないかと思っています。

他には、街にあります「アイモール」、ガソリンスタンドとかサンルートホテルに置いてありますが、そういう所にも情報提供をし、皆さんに見ていただけるように努力しています。この機会に他の方法がありましたら教えていただきたいと思っております。

次に淀江文化センターは、子どものイベントが多いのではないかというご意見がありましたが、指定管理を受ける第1期目に、淀江文化センターはそういう役割付けをしておりましたので、あえて子ども達を中心になるように設定しています。来年度の事業につきましては、一部残りますが地域と連携する「上淀廃寺を語る」というような事業も取り入れていますので、それだけに固執したような形にはしたくないと考えています。

委員

事業を行う以上、企画した者としては沢山の人に見てほしいというのは当然のことで、委員が言われたPRとかそういう点は非常に大事な問題と思っております。

委員

文化ホールの職員が営利事業ということではないという基本コンセプトでやっていらっしゃるの、これからも創意工夫されて是非、沢山の市民が楽しめるような企画をお願いします。

委員

周知することについて、自治会の協力がないとできないと思うが自治会の掲示板を使う方法はないですか。

文化ホール職員

自治会の掲示板ではなく、回覧板は依頼が沢山くるので一切お断りしているということがありました。中にはホールと関係のある方で自治会長しておられる方が、好意で回覧板に出していただいているところもあります。一般的にはそのルートで配布というのは難しいということがあり、自治会の掲示板に掲示するには、直接役員をしている方に届ければ掲示していただけるかもしれませんが、検討してみたいと思います。

委員

プロジェクターを設置してのPRに関してですが、ホールの外壁に映せば信号待ちしておられる人の目にとまると思いますが、そういう方法は無理ですか。

文化ホール職員

一度実施したことがあります。メインホールのロビーのガラス面に対して、内側からガラス面をスクリーンに見立てて映し道路から見る人にしましたが、歩道を歩いている人が全然気付かれませんでした。大きなスクリーンで映していますが気付かないで素通りされます。外壁面全体に投影すると外にプロジェクターを置くようになり雨や雪降ると難しい。電光掲示板を置けば景観との関係が出てくるので、踏み切れないでいます。公会堂には看板を掲げる所がありますので、文化ホールや淀江文化センターの事業を掲げたりします。具体的な方策が無いのが現状です。

委員

PRについては技術的な面、金銭的な等ありますので、何か良いアドバイスがあればよろしくをお願いします。

文化ホール職員

議案3 23年度自主事業計画について
平成23年度自主事業計画について報告

委員

積立金取崩金というものがありますが、毎年、年間の額が決まっていますか。

文化ホール職員

特に幾らという考え方はありません。事業を行うために見積もりを出すその中で、館長会等の会議で諮って決めます。来年度については、利用料収入等勘案し、チケット販売、広告料収入で大体430万円前後を考えています。積立金取り崩し金につきましても440万円前後、半分は積立金を取り崩して事業を展開していきたいと考えております。

委員

その額の推移というのはどうでしょうか。例えば毎年似たような額なのか、減少傾向にあるのか、増加傾向にあるのか。

文化ホール職員

支出する金額はほぼ同じ予定です。積立金取崩金として記載していますが、事業を行って結果として赤字はどこからか補填しなければいけないので、努力をして取り崩さないように収益を上げていきたいと思っています。

委員

先ほどのPRとの関連性すると思いますが、例えば、なつかしの名画劇場は対象者の年代が絞られますが、どういう方達にどの位来て欲しいというものを検討された中で、一つ一つの事業の内容を決められているのでしょうか。

情報収集をどういった方達にされたうえで、事業の決め方をされているのでしょうか。

文化ホール職員

なつかしの名画劇場は、公会堂でこれまで継続して行ってきた事業で、映画の内容をどういうふうにして選ぶのかということですが、文化庁がプログラム・メニューを作っており、この中から選んでくださいという方法です。

数年間同じプログラムが続くと、何年か経った後には少し変わったプログラムになります。大きな変化はありません。その中から選びます。これは米子シネマクラブの皆さんにアドバイスを頂き、どれが喜んでいただけるかとか相談しながら決めました。段々と選ぶ余地が無くなっており、限られた中から選ばざるを得ないというのが現状です。

対象については、これまでずっとやってきてほぼ60歳以上の方です。若い方をもっと取り込もうということで調整してみた企画もありましたが、結局はお年寄りの方が多いので、お年寄りを大事にして行うことがベストだと今は判断しています。

アンケートを取ると、今回は文化ホールで行いましたので、文化ホールが良かったというアンケートの答えがありました。一つ問題は観客の入場者数が公会堂と文化ホールとでは大変違います。チケットの売れる枚数が制限されるので文化ホールでは完売してしまいました。

今までは当日券でも入れたのに、完売だということでお叱りをうけたこともありましたが、文化ホールは場所的に便利が良いという答えが多かったです。

アンケートにお客様から、次はどんな映画が見たいという希望が必ず書いてあり、それがプログラムにあれば、また要望が多数あればいいのですが、意見が残ったプログラムの中から抽出して選ぶというのが現状です。

アンケートに要望があって行うという事業は限られます。例えばダンスフェスは、沢山の団体があるが発表の場が非常に少ないという声が寄せられ、それでは発表の場を提供しようということで始めました。結果的に、もの凄く好評で1回だけ様子を見ようということでしたが、余りにも反響が大きくて2回目、3回目を行います。

委員

事務局は少人数で大変な部分があると思います。例えば、ダンスをやる当事者の方たちは全面的な協力は別として、少しその事業の中に参加をしてもらって一緒に事業を盛り上げることはできないのでしょうか

文化ホール職員

実際に行おうと思っています。第2回のダンスフェスにつきましても、我々職員は昼間6人しかいませんので、協力者を得て行おうと思っています。

また、童謡は我々スタッフだけで動いたのではなく、参加者の方にも何かお手伝いをしていただき皆で作りに上げていくような事業です。

実際問題、文化ホールの稼働率が高いのは音楽関係の方が自分達でどんどん公演されていけるわけです。それは米子市音楽祭が来年で53回になり成果として、経験を持たれた方がノウハウを蓄積され、自分達でどんどん公演をされて使われて利用が上がっています。

それぞれの事業は、誰をターゲットにしていますかということでしたが、メイン事業の「米子市・保定市友好締結20周年記念事業」の代わりのものは、若い方で今後の米子の20年先の未来像を語ってもら

う講演会はどうかと思っています。そのアドバイスを皆さんからいただいてメイン事業ができれば良いと思ひ、若い層を狙いたい事業にしたいと考えています。

国際アニメフェスティバルが2012年にあるので、ブレ大会的なものを県と協力できないかと思ひ検討している最中ですので、アドバイスをいただけたらと思っています。

委員

鷺見三郎顕彰事業で鑑賞事業を周年と言われましたがよく分からないのですが。

文化ホール職員

平成21年度につきましては、没後25周年記念ということで行ひ、考えているのは平成26年度に没後30年になりますので、その時に周年事業という形で鑑賞事業を行いたいと考えています。

他の団体が鑑賞的な事業を開催しておりますので、文化ホールは鑑賞事業ではなく育成に力を入れた事業を行っていきたいと考えています。

委員

毎年あった鑑賞事業は、周年的に行うということですね。

文化ホール職員

5年毎の平成26年を予定しております。

委員

年間を通じて育成事業を活動されるのは、構想的にはどういうふうに考えていますか。

文化ホール職員

今後、県等と話をしながら、行事が他の団体と重ならないように5、6月頃からスタートしようと思ひていますが、月に1、2回程度集まって合同練習をしていこうと思ひています。

色々な団体が、弦楽の教育に力を入れている街だというようにやっていきたい。弦楽の指導を希望されている方もおられますので、来年度以降そういった方々の協力を得ながら進めていきたいと考えています。そして、1年間の集大成として、3月には発表会をし、できれば来年度は無理にしてもその次の年度は中間発表ということができればと構想の中では思ひています。また、それがアウトリーチ事業に結び付くような事業を展開していきたいと思ひています。

委員

弦楽器をやっている子どもというのは限られますが、色々な形で色々な所がやると対象は皆同じものになり、負担になりますので調整をしていかないと大変になると思ひます。

委員

落語の予定は無いのですか。又、来年度は県との連携事業は無いのですか。

文化ホール職員

メイン事業につきまして、地元を大切にしたいという考え方を持っています。落語が悪い訳でなく、皆さんが見たい聞きたいという方を今年度は呼びましたが、来年度については、できれば地元の方が何か活躍できるようなメイン事業にできればと思ひています。運営委員の皆さんの中で落語のようなものと呼んだほうが良いということであれば、参考にしたいと考えています。

連携事業については、西部で行う鳥取県文化振興財団の事業についてコンベンションセンターで全て行うそうです。キャパの問題があり、文化ホール、淀江文化センターで行うとコストが上がり、一枚3、4千円でできるものが文化ホールで行うと6、7千円になってしまうことに理由があるのかと思ひています。

文化ホール職員

利用者サービス向上策として2ヶ月に亘る催しについて1年前予約の受付け改正について報告
23年度以降祝日と休館日が重なった場合に開館することを報告

委員

現在、公会堂が使用できなく、文化ホールの利用率が高いので火曜日を開館するということが。

文化ホール職員

公会堂を利用されておられた方や、今後も公会堂を利用したいと思っている方々が、文化ホールや淀江が代替えになれば申込をされますが、文化ホールは利用率が高く申し込みの日にちが重なってしまえば抽選や話し合いの結果ということがこれまでもありました。わずかではありますが、祝日と休館日が重なった場合には開けましょうということです。それ以上になんとかならないかということであれば、検討の対象にはなりますし、職員の労働の問題にも関わってきますので、経営サイドの方で検討をしようということと話し合いはしています。

委員

利用者サービスの向上策の予約についてですが、広報に載せるのはいつですか

文化ホール職員

3月の広報に掲載します。4月1日から運用します。

委員

月をまたいで連続で使用される人は、情報が早く欲しいと思います。

文化ホール職員

できるだけ早く告知をするということで、文化ホールの受付で告知をしようと考えております。

委員

早く周知することも必要と思いますのでよろしくお願いします。

委員

他に何か意見はありますか。

委員

これで事務局から提案された3つの議題について、検討を終わりたいと思います。

4 その他

米子市公会堂あり方検討報告書の概要を説明